

教育目標: つよい子・考える子・助け合う子

杉並区立大宮小学校



大宮小

HP URL: <http://www.suginami-school.ed.jp/oomiyashou/>

題字『大宮小』(おおみやこう) 勝海舟

～本の記憶～

校長 本川 里美

私は、小さい頃から本が好きです。小学生の時には、学校の図書館の本を全部読み、大人になったら図書館の横に住みたいと本気で思っていました。小さい時のお気に入りの本の記憶は鮮明で、「いやいやえん」「らいおんみどりの日ようび」「長くつ下のピッピ」の本を今でも大切に保管しています。表紙はもちろん、本の香りまではっきりしているのが不思議です。誰にでも忘れられない一冊があるのではないのでしょうか。

現在、大宮小学校の調べ学習室の前には、「先生がおすすめする一冊」が紹介されています。それぞれ、個性あふれるラインナップになっているので、来校の際にはぜひご覧ください。その中からオンライン朝会で、司書の大藤先生のおすすめの本を紹介したところ、あっという間に子供たちが手に取ってすぐに全部貸し出されたと聞きました。自分で選ぶと、嗜好が偏りますが、人から紹介されると「面白そうだな。」と思い選書の幅が広がることが分かりました。ぜひ、子供たちには、様々なジャンルの本に触れ、異次元の世界を増やしてほしいと願っています。今やネット通販では、「あなたへのおすすめタイトル」としてAIが本を勧めてくれます。しかし、身近にいる大人が思いをもって一緒に本を選んだり、読み聞かせをしたりして時間の共有をするのはまた格別だと思うのです。

担任をもっていた時には、子供たちによく読み聞かせをしました。同窓会で久しぶりに会った時、読んだ本を覚えている子がいたのは驚きでした。様々、一緒に学習したり遊んだりしましたが、総合的には、「たくさん本を読んでくれた先生」なのだそうです。ここでも本の記憶は鮮明でした。

コロナウイルスの第3波で不要不急の外出を控えなければならない今だからこそ、ゆっくりと本と向き合うのもいいのではないのでしょうか。同じ本を繰り返し読むのもよし。多読もよし。ただただ見るのもよし。自分なりの本との付き合い方を見つけてほしいと思います。環境省主催の「かおりの風景 100選」に神田古書店街の約200mにわたる道路が選ばれたそうです。古書類からの独特のかおりが選ばれた理由です。本のかおりを慈しむのも良いかもしれません。

図書館の横に住む夢は、いまだ叶えられていません。冬の夜には、スマホを置いてゆっくり読書をしたいと思います。大宮小の子供たちにも素敵な本の記憶ができますように。

《道徳教育について》

今年度、道徳授業地区公開講座は1日での開催が難しくなり、3日に分けて学校公開時に行うことになりました。毎日マスクを着用し、人との関わり方を意識しながら過ごしている子供たちにとって、道徳の授業はとても大切です。相手の話に耳を傾けてじっくり聞くこと、自分の考えを伝え合うことに重点を置いて進めています。互いの距離を感じる今だからこそ、新たな考えが生まれてくるのかもしれません。学校公開では、子供たちが自分の心と向き合い、真剣に考える姿をぜひご覧ください。 (道徳担当 増田 宏